

かつしかの

第141号

きょういく

プログラミング教育を推進します!



▲話し合いながら、タブレットPCを使ってプログラムを考える児童たち

本区では、すでに昨年度から東京都の指定を受けたプログラミング教育推進校(新宿小学校・西小

この小学校におけるプログラミング教育は、新たに「プログラミング」という教科ができるわけではなく、既存の教科・単元等において、プログラミング教育を取り入れた授業が実施されることとなります。

私たちの生活においてコンピュータは欠くことのできないものとなりつつあり、子どもたちは、そのコンピュータを理解し上手に活用していく力やコンピュータに意図した処理を行わせるために必要となる論理的思考力を身に付けることが重要となつてきています。このような中、来年度から全国の小学校においてプログラミング教育が必修化されます。

また、教育環境の面においても、プログラミング教育で活用できるアプリケーションやロボット型の教材の導入を進めています。学校

この推進校での研究結果等を踏まえ、全校で取り組んでいきます。

管小学校)で実践が始まっています。推進校では、児童の発達段階や学習経験に応じて様々なプログラミング教育が実施されています。例えば、社会の授業でタブレットPCとプログラミングソフトを使って、コンピュータが私たちの暮らしにどのような影響を与えているかを学んだり、体育の授業において、動きのカードを組み合わせてダンスのプログラムを組み立てたりするなど、様々な教科でプログラミング教育が実施されています。必修化される来年度からは、



▲動きのカードでダンスのプログラムを組み立てる児童たち



▲プログラムを組み立て、ロボットを動かす児童

指導室 ☎ (5654) 8573

への支援としては、ICT支援員が各学校のプログラミング教育の授業づくりを支援していくとともに、今回導入するロボット型の教材の活用においては、本教材の企画・開発を担当する株式会社NTTドコモと製造・販売を担当する株式会社タカラムから教員向け研修や出張授業等の支援を受けられる体制を構築するため、覚書を締結しました。

以上のように、葛飾区教育委員会では、教育の環境面や運用面での整備を進め、来年度からの本格実施に当たり、全ての区立小学校及び保田しおさい学校の全学年においてプログラミング教育の推進を図り、子どもたちの「プログラミング的思考」の育成に積極的に取り組んでいきます。